

平成30年度 産業廃棄物税基金充当事業 実績報告書

事業名：循環型社会に貢献できる産業人材育成事業（白石工業高校）  
 事業実施期間：平成29年度から平成31年度  
 担当課室名：高校教育課  
 担当班名 キャリア教育班 TEL： 3625  
 e-mail ko-kogyo@pref.miyagi.lg.jp

1 事業の目的

産業廃棄物の再利用・有効利用を含めた、循環型社会に貢献できる技術者・技能者を育成する。また、廃棄物の発生抑制や、リサイクル産業の振興並びに循環型社会について、専門高校生として取り組むことのできる実践や基礎的研究を各関係団体からの支援を受け行う。

2 当該年度の実施事業の概要・実績

『解体木造建築物の構造材再利用促進の基礎的研究事業』

木造建築物を解体する際に排出される各種部材から再利用可能な部材を採取し、その材料を使用した木工製品の設計、製作を行った。また、専門講師の指導による実践的な学習を契機として、地域環境にも配慮した「ものづくり」に邁進できる高い意識を持つ産業人材の育成を行った。

- 木材を活用するための基礎的な道具の扱い方、加工方法に関する学習
- 廃材を活用した住宅や環境配慮型の住宅に関する事例紹介を中心とした授業実践
- 地域の保育園児、幼稚園児用の木製玩具製作【10作品】（おうちパネル、おままごとセット、輪投げ、動物シート、平均台、動物おもちゃ、おもちゃ箱、ドミノ、くるくるスロープ、ハートイ）
- 木製家具製作【6作品】（サイドテーブル3台、テーブル、本棚、踏み台兼物置き）
- 鉋の削りくずを活用した「削り花」製作【200輪】
- 木製キホルダー（通称：トッキー）製作【400個】○伝統工芸『組子』を活用した行灯製作【4作品】
- 製図室用木製ワゴン製作【40台】 ○木製ベンチ製作【4台】
- 産業廃棄物の処理方法や再生利用に関する技術を学ぶためのリサイクル施設、工場の見学

3 当該年度の実施事業の成果

- リサイクル工場や夢工場の見学等により、生徒達は学校生活において3Rの思考で取り組むようになった。
- 木製玩具を、白石市北保育園とひかり幼稚園に寄贈した。生徒は園児達の喜ぶ姿を見ることにより、循環型社会の構築や地域貢献について理解を深めることができた。
- 生徒は、廃棄物を再利用した製作物を授業で使用することで、ものに対する愛情を育むことができた。
- 技術者や専門家の協力により、より実践的かつ高度な知識や技能を身につけることができた。

4 今後の展開

- 本事業を授業にも盛り込みながら、効率的かつ効果的な活動になるよう検証・改善を加えながら実践していく。
- 取組はテレビで放送され、地域からの反響も大きいものとなった。今後は、更に地域との連携を深め、地域に根ざした取組を実践していく。
- 各種団体や教育機関との協力関係も築きながら、新たな活動の場を模索しつつ、活動内容にも幅や柔軟性を持たせていく。

5 廃棄物の削減・リサイクル、適正処理の促進の効果等を示す指標の数値

(指標：関連授業時数)

単位：時間

平成29年度	平成30年度			
156	168			

6 事業費の推移

単位：千円

平成29年度	平成30年度			
1,461	1,734			